

「初雪のふる日」 P104 ~ P119

安房直子作
寺門孝之 絵

① 場面の移り変わりに注意しながら、女の子の様子や気持ちの変化に着目して音読する。

② ①を踏まえ、感想を書く。(四行程度)

①おばあさんの話を思い出したとき

②よもぎの葉を見つけたとき

③町の人に取り囲まれたとき

(例) ①のとき ↓ 女の子の様子から ↓ 女の子の気持ちはこうだと思おう。

の女の子の様子や気持ちの変化に着目してかきとよい。

③ 「初雪のふる日」を家の人に紹介するとしたら、

どんな物語だと紹介しますか。(四行程度)

・この物語のことを初めに知り人にどんな風に紹介するか考えてみよう。

・あらすじや自分の心に残ったところを入れるとよいです。

◎ かんがえるって おもしろい

谷川 俊太郎 作
佐々木 一澄 絵

めあて

えがかれていることを思い浮かべながら音読し、
感じたことを、ノートに書こう。

① えがかれていることを想像しながら音読する。

② 詩の特徴をとらえ、思い浮かんだ様子や心に残った言葉、
考えたことなどをノートに書く。

※書き方のポイント

「○○○○」から〴〵感じました。理由は、…だからです。

③ 「続けてみよう」を読みましよう。

④ 「かんがえるって おもしろい」と「続けてみよう」を読んだこと
を踏まえ、1年間、どのようにみんなと学んでいきたいか、高学
年として、どんな学校にしていきたいかを考え、書きましよう。

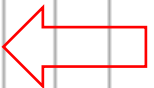
◎ 図書館を使いこなそう

めあて

本の分類の仕方を理解し、
それを活かして本を探せるようにしよう。

みなさんは、図書館をどのくらい利用していますか。
また、どんなふうに見つけたい本を探していますか。

① の男の子が、どのように本を探しているか読んでみましょう。



多くの図書館では、「日本十進分類法」に従って、本が分けられ、
たなに整理されています。同じ「馬」の本でも、いろいろな本が
あります。自分が探したい本が見つかるように、どんな本を
探すのかをくわしく考えるようにしましょう。

② 本の分け方は分かりましたか。
では、次に、本が見つからなかったときは、どうすれば良いので
しょうか。 を見てみましょう。

③ 振り返ろう
新しく知ったことや分かったことを書きましょう。また、これ
から図書館を利用するときに、生かしたいことも書きましょう。

◎ 漢字の成り立ち

めあて

漢字の由来、特質などについて理解しよう。

●漢字の成り立ちには、大きく分け、四つのものがあります。

① 目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。
例 【馬・山・門・火・手 など】

② 目に見えない事がらを、印や記号を使って表したもの。例 【上・下・三 など】

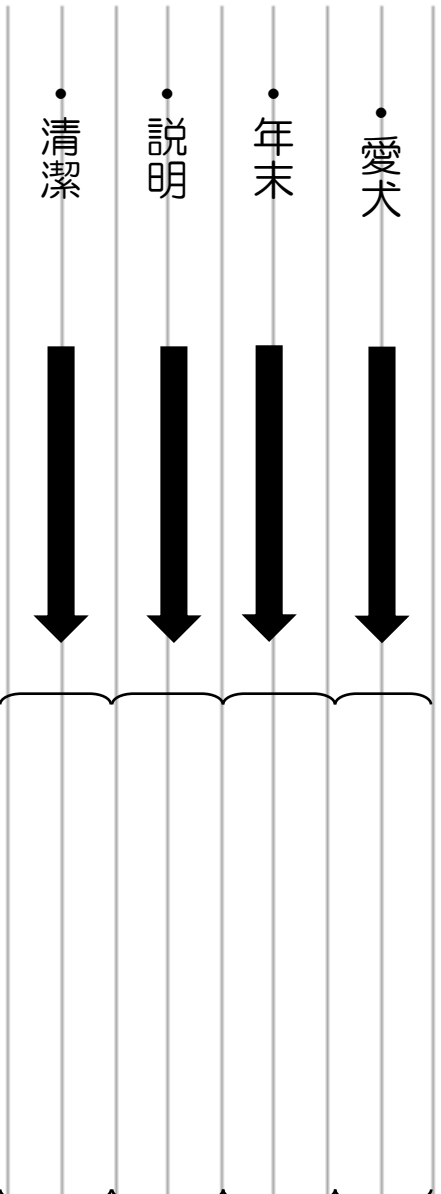
③ 漢字の意味を組み合わせたもの。
例 【鳴・信・林 など】

④ 音を表す部分と、意味を表す部分を組み合わせたもの。
例 【草・持・格・晴 など】

問題

次の 線の漢字の成り立ちを、漢字辞典を使って調べ、

① ～ ④ のどれに分類されるか答えましょう。



●物の形を表した次のそれぞれの絵からは、どのような漢字ができて
しょうか。想像して書きましょう。

貝	魚	鳥	象	雨	水	川	山	火	月	日
馬	牛	犬	心	耳	目	竹	車	手	木	田

● 漢字辞典を使って、いろいろな漢字の成り立ちを調べましょう。

						銅	岩	漢字
						形声文字 けいせい ぶんじ	会意文字 かいい ぶんじ	成り立ち方の 種類
						金が金ぞくという意味を、同（ドウ）が音を表す。 金と同じようなねうちのある赤い金ぞく。	山（やま）と石（いし）とを合わせた字。 山にある、大きくてごつごつした石のこと。	成り立ちや意味

◎ 春の空

めあて

言葉の響きやリズム、春に関わる言葉に親しもう。

● 枕草子

清少納言

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、あじう

明かりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

① 音読をしましょう。※「やうやう」↓「やうやう」と読みます。

② の現代語訳を参考にして、言葉の意味を調べましょう。

- ・あけぼの ↓ ()
- ・やうやう(やうやう) ↓ ()
- ・山ぎは(わ) ↓ ()

③ ②を踏まえて、枕草子から清少納言の春に対する見方や感じ方を考えてみましょう。

清少納言は、()と感じている。

④ 清少納言は、春はあけぼのと書きましたが、自分が感じる春を表現するとしたら、なんと書きますか。次の()に入るように書いてみましょう。

春は()。